

1. 第2次常総市都市計画マスタープラン策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 都市計画法(昭和43年法律第100号)第18条の2第1項の基本方針(以下「第2次常総市都市計画マスタープラン」という。)を策定するため、第2次常総市都市計画マスタープラン策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、第2次常総市都市計画マスタープランの策定に必要な事項について検討し、協議する。

(組織)

第3条 委員会の委員は、次に掲げる者をもって構成し、市長が委嘱又は任命する。

- (1)学識経験者
- (2)関係行政機関
- (3)市内各種団体・企業
- (4)市職員
- (5)前4号に掲げるもののほか市長が適当と定める者

2 委員会の委員は18名以内で構成する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、学識経験を有する者をもって充て、副委員長は、委員長が指名する者をもって充てる。
- 3 副委員長は、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庁内ワーキンググループ)

第6条 委員会の所掌事項を個別かつ具体的に検討するため、委員会に庁内ワーキンググループ(以下「庁内WG」という。)を置く。

2 庁内WGの委員は、次に掲げる者をもって構成し、市長が委嘱又は任命する。

- (1)学識経験者
 - (2)市職員
 - (3)前2号に掲げるもののほか市長が適当と定める者
- 3 庁内WGに座長を置き、学識経験を有する者をもって充て、副座長は都市計画課長が務める。
- 4 庁内WGの会議は、座長が招集し、主宰する。

(任期)

第7条 委員会及び庁内WGの委員の任期は、第2次常総市都市計画マスタープランの策定完了までとする。

(庶務)

第8条 委員会及び庁内WGの庶務は、都市建設部都市計画課において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、令和4年11月14日から施行する。

2. 組織名簿

(1) 第2次常総市都市計画マスタープラン策定委員会名簿

No.	令和4年度 氏名	所属	令和5年度 氏名	所属	備考
1	大澤 義明	国立大学法人筑波大学 システム情報工学研究科長 社会工学域 教授	大澤 義明	国立大学法人筑波大学 システム情報工学研究科長 社会工学域 教授	委員長
2	藤井 さやか	国立大学法人筑波大学 システム情報系社会工学域 准教授	藤井 さやか	国立大学法人筑波大学 システム情報系社会工学域 准教授	
3	木内 望	国立研究開発法人建築研究所 研究 専門役	木内 望	国土交通省国土技術政策総合研究所 住宅研究部長	
4	安井 裕司	株式会社本田技術研究所 知能化領域エグゼクティブチーフエ ンジニア	安井 裕司	株式会社本田技術研究所 知能化領域エグゼクティブチーフエ ンジニア	
5	北村 恵喜	関東鉄道株式会社 取締役	北村 恵喜	関東鉄道株式会社 取締役	
6	宮本 明憲	常総市商工会青年部 部長	大坂 寛暁	常総市商工会青年部 部長	
7	細谷 悟志	常総市社会福祉協議会 事務局長	細谷 悟志	常総市社会福祉協議会 事務局長	
8	今井 和敏	茨城県常総工事事務所 次長兼道路河川整備課長	渡邊 隆幸	茨城県常総工事事務所 次長兼道路河川整備課長	
9	西田 将人	副市長	石井 陽	副市長	
10	横島 義則	市長公室長	飯泉 真由美	市長公室長	
11	飯泉 真由美	総務部長	横島 義則	総務部長	
12	秋葉 利恵子	市民生活部長	秋葉 利恵子	市民生活部長	
13	堀 洋信	福祉部長	堀 洋信	福祉部長	
14	植竹 順一	保健衛生部長	植竹 順一	保健衛生部長	
15	小島 裕治	産業振興部長	川沼 一巳	産業振興部長	
16	戸塚 勇	都市建設部長	小林 寛明	都市建設部長	副委員長
17	小林 寛明	教育委員会 教育部長	森田 修	教育委員会 教育部長	

(2) 第2次常総市都市計画マスタープラン庁内ワーキング名簿

No.	令和4年度氏名	所属	備考	令和5年度氏名	所属	備考
1	藤井 さやか	国立大学法人筑波大学 システム情報系社会工学域 准教授	座長	藤井 さやか	国立大学法人筑波大学 システム情報系社会工学域 准教授	座長
2	小林 弘	常創戦略課長		間宮 敏	常創戦略課長	
3	増田 隆幸	デジタル推進課長		増田 隆幸	デジタル推進課長	
4	吉原 光一	防災危機管理課長		吉原 光一	防災危機管理課長	
5	山本 寛	資産活用課長		山本 寛	資産活用課長	
6	渡邊 高之	行財政改革課長		渡邊 高之	行財政改革課長	
7	文蔵 栄一	市民と共に考える課長		文蔵 栄一	市民と共に考える課長	
8	亀井 浩之	社会福祉課長		亀井 浩之	社会福祉課長	
9	坂野 照幸	こども課長		村上 大成	幸せ長寿課長	
10	秋田 直樹	生活環境課長		坂野 照幸	こども課長	
11	斎藤 庸一	アグリサイエンスバレー整備課長		秋田 直樹	生活環境課長	
12	佐内 誠	農政課長		谷田川 祐司	アグリサイエンスバレー整備課長	
13	岡野 富士男	商工観光課長		飯塚 俊祐	農政課長	
14	神達 隆樹	都市計画課長	副座長	岡野 富士男	商工観光課長	
15	田中 寛之	地域拠点整備課長		神達 隆樹	都市計画課長	副座長
16	松崎 秀人	道路課長		田中 寛之	地域拠点整備課長	
17	神林 誠	下水道課長		松崎 秀人	道路課長	
18	篠崎 裕之	水道課長		平塚 道治	下水道課長	
19	西村 聡	学校教育課長		大久保 昭仁	水道課長	
20	沼尻 俊彦	生涯学習課長		西村 聡	学校教育課長	
21	—	—		沼尻 俊彦	生涯学習課長	

3. 第2次常総市都市計画マスタープランの策定経緯

開催・実施日	実施経緯
令和4年12月2日(金)	第1回策定委員会
令和4年12月2日(金)	第1回庁内ワーキング
令和4年12月6日(火)	ヒアリング(商工会青年部)
令和4年12月13日(火)	ヒアリング(工業懇話会)
令和4年12月15日(木)	ヒアリング(不動産事業者)
令和4年12月20日(火)	ヒアリング(青年会議所)
令和4年12月20日(火)	ヒアリング(不動産事業者)
令和4年12月～令和5年1月	子育て世代アンケート
令和5年1月11日(水)	ヒアリング(営農者)
令和5年1月29日(日)	第1回市民ワーキング
令和5年3月12日(日)	第2回市民ワーキング
令和5年5月9日(火)	第2回庁内ワーキング
令和5年5月30日(火)	第2回策定委員会
令和5年6月11日(日)	第3回市民ワーキング
令和5年6月16日(金)	庁内ワーキング分科会(道路部会、土地利用部会)
令和5年6月21日(水)	ヒアリング(モビリティ開発事業者)
令和5年7月10日(月)	第3回庁内ワーキング
令和5年8月7日(月)	第3回策定委員会
令和5年10月3日(火)	第4回庁内ワーキング
令和5年10月24日(金)	第4回策定委員会
令和5年11月28日(火) ～令和5年12月6日(水)	地域別懇談会(パネル展示)
令和5年12月3日(日)	高校生ワークショップ
令和5年12月28日(木) ～令和6年1月26日(金)	パブリックコメント
令和6年2月7日(水)	第5回策定委員会
令和6年2月9日(金)	都市計画審議会
令和6年2月14日(水)	第5回庁内ワーキング

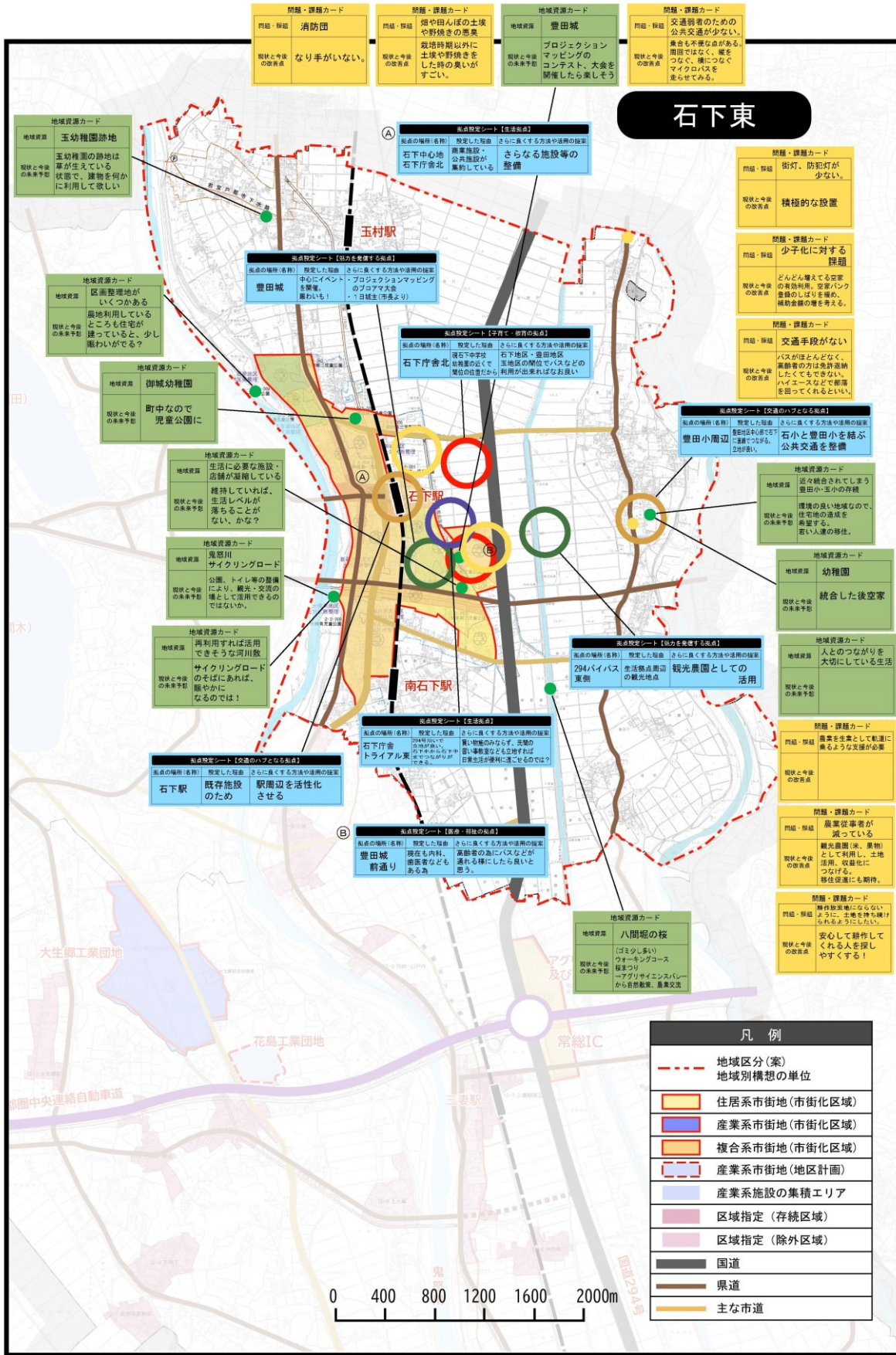
4. 市民ワーキング・高校生ワーキングの開催状況

(1) 市民ワーキング

市民ワーキングは、「都市計画マスタープランについて、市民の視点からの意見を反映する」、「地域別の将来像や施策について、地域ごとに議論する」ため、市内6地域の代表(区長, 教育・子育て, 防災, 市民, 職員等)で構成し、ワークショップ形式で3回開催しました。

全体で議論すること	地域ごとに議論すること
<ul style="list-style-type: none"> ○常総市の課題 ○都市づくりの理念・基本方針 ○常総市の将来像 ○都市づくりの方針 ○地域の位置づけ ○実現化方策 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の課題 ○地域づくりの理念・基本方針 ○地域の将来像 ○地域づくりの方針(施策)
○事務局案について説明し、意見をもらう形式で実施	○地域別にテーブルを設置し、ワークショップ形式で議論を進める形式で実施





問題・課題カード
問題・課題 消防団
現状と今後の改善点 なり手がいない。

問題・課題カード
問題・課題 畑や田んぼの土埃や野焼きの悪臭
現状と今後の改善点 農地時期以外に土埃や野焼きをした時の臭いがすごい。

地域資源カード
地域資源 豊田城
現状と今後の未来予想 プロジェクションマッピングのコンテスト、大会を開催したら楽しそう

問題・課題カード
問題・課題 交通弱者のための公共交通が少ない。
現状と今後の改善点 乗客も不便な点がある。周回ではなく、縦をつなぐ、横につなぐマツカハバスを走らせてみる。

石下東

地域資源カード
地域資源 玉幼稚園跡地
現状と今後の未来予想 玉幼稚園の跡地は草が生えている状態で、建物を何かに利用して欲しい

地域資源カード
地域資源 区画整理地がいくつかある
現状と今後の未来予想 農地利用しているところも住宅が建っているが、少し賑わいがほしい

地域資源カード
地域資源 御城幼稚園
現状と今後の未来予想 町中なので児童公園に

地域資源カード
地域資源 生活に必要な施設、店舗が揃っている
現状と今後の未来予想 維持していれば、生活レベルが落ちることがない、かな？

地域資源カード
地域資源 荒沼川サイクリングロード
現状と今後の未来予想 公園、トイレ等の整備により、観光、交流の場として活用できるのではないかな？

地域資源カード
地域資源 再利用すれば活用できそうな荒川敷サイクリングロードのそばにあれば、賑やかなのでは！

私点特定シート【交通のハブとなる拠点】
私点の場所(名称) 石下駅
想定した用途 既存施設のため
さらに良くする方法や用途の提案 駅周辺を活性化させる

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 玉村駅
想定した用途 商業施設、公共施設が集約している
さらに良くする方法や用途の提案 さらに良くする方法や用途の提案

私点特定シート【住居を喚起する拠点】
私点の場所(名称) 豊田城
想定した用途 中心にイベントを開催、賑わいも！
さらに良くする方法や用途の提案 プロジェクションマッピングのゴアマスを開催、1日城主(市長より)

私点特定シート【子育て・教育の拠点】
私点の場所(名称) 石下小
想定した用途 石下小学区、豊田地区、豊田地区の近所で、玉地区の単位でバスなどの利用の機会を創出
さらに良くする方法や用途の提案 利用が出来ればなお良い

私点特定シート【交通のハブとなる拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点商圏の観光拠点
さらに良くする方法や用途の提案 観光農園としての活用

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 南石下駅
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 豊田城
想定した用途 観光農園としての活用
さらに良くする方法や用途の提案 観光農園としての活用

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

私点特定シート【生活拠点】
私点の場所(名称) 石下南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 生活拠点商圏の観光拠点

問題・課題カード
問題・課題 街灯、防犯灯が少ない。
現状と今後の改善点 積極的な設置

問題・課題カード
問題・課題 少子化に対する課題
現状と今後の改善点 どんどん増える空家の有効利用、空家バンクの活用、空き家バンクの活用、補助金等の活用を考える。

問題・課題カード
問題・課題 交通手段がない
現状と今後の改善点 バスが少なく、高齢者の方は免許所持したくてもできない。ハイヤーなど都落ちを回ってくるという。

問題・課題カード
問題・課題 交通のハブとなる拠点
私点の場所(名称) 豊田小南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 石小と豊田小を結ぶ公共交通を整備

問題・課題カード
問題・課題 交通のハブとなる拠点
私点の場所(名称) 豊田小南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 石小と豊田小を結ぶ公共交通を整備

問題・課題カード
問題・課題 交通のハブとなる拠点
私点の場所(名称) 豊田小南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 石小と豊田小を結ぶ公共交通を整備

問題・課題カード
問題・課題 交通のハブとなる拠点
私点の場所(名称) 豊田小南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 石小と豊田小を結ぶ公共交通を整備

問題・課題カード
問題・課題 交通のハブとなる拠点
私点の場所(名称) 豊田小南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 石小と豊田小を結ぶ公共交通を整備

問題・課題カード
問題・課題 交通のハブとなる拠点
私点の場所(名称) 豊田小南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 石小と豊田小を結ぶ公共交通を整備

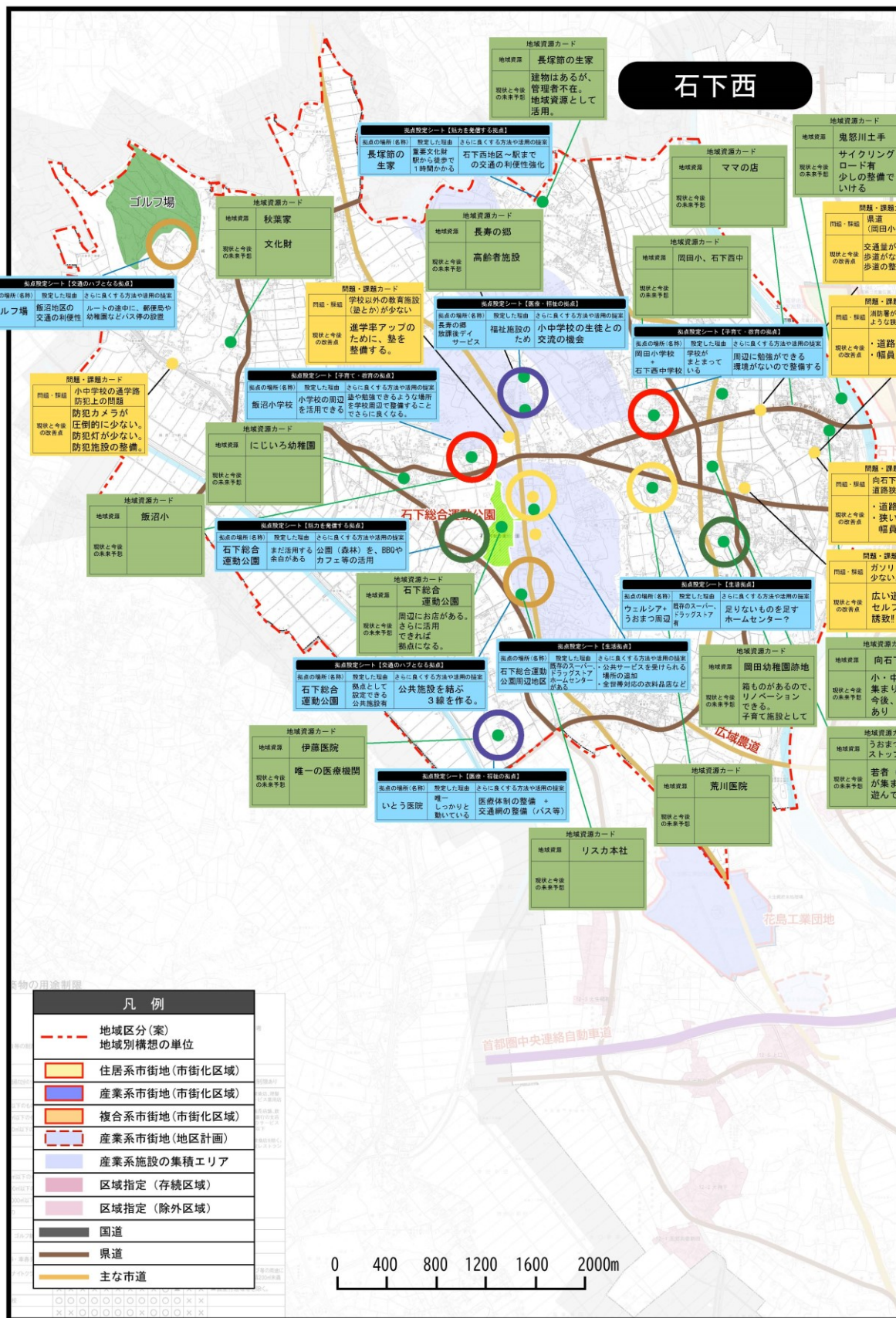
問題・課題カード
問題・課題 交通のハブとなる拠点
私点の場所(名称) 豊田小南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 石小と豊田小を結ぶ公共交通を整備

問題・課題カード
問題・課題 交通のハブとなる拠点
私点の場所(名称) 豊田小南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 石小と豊田小を結ぶ公共交通を整備

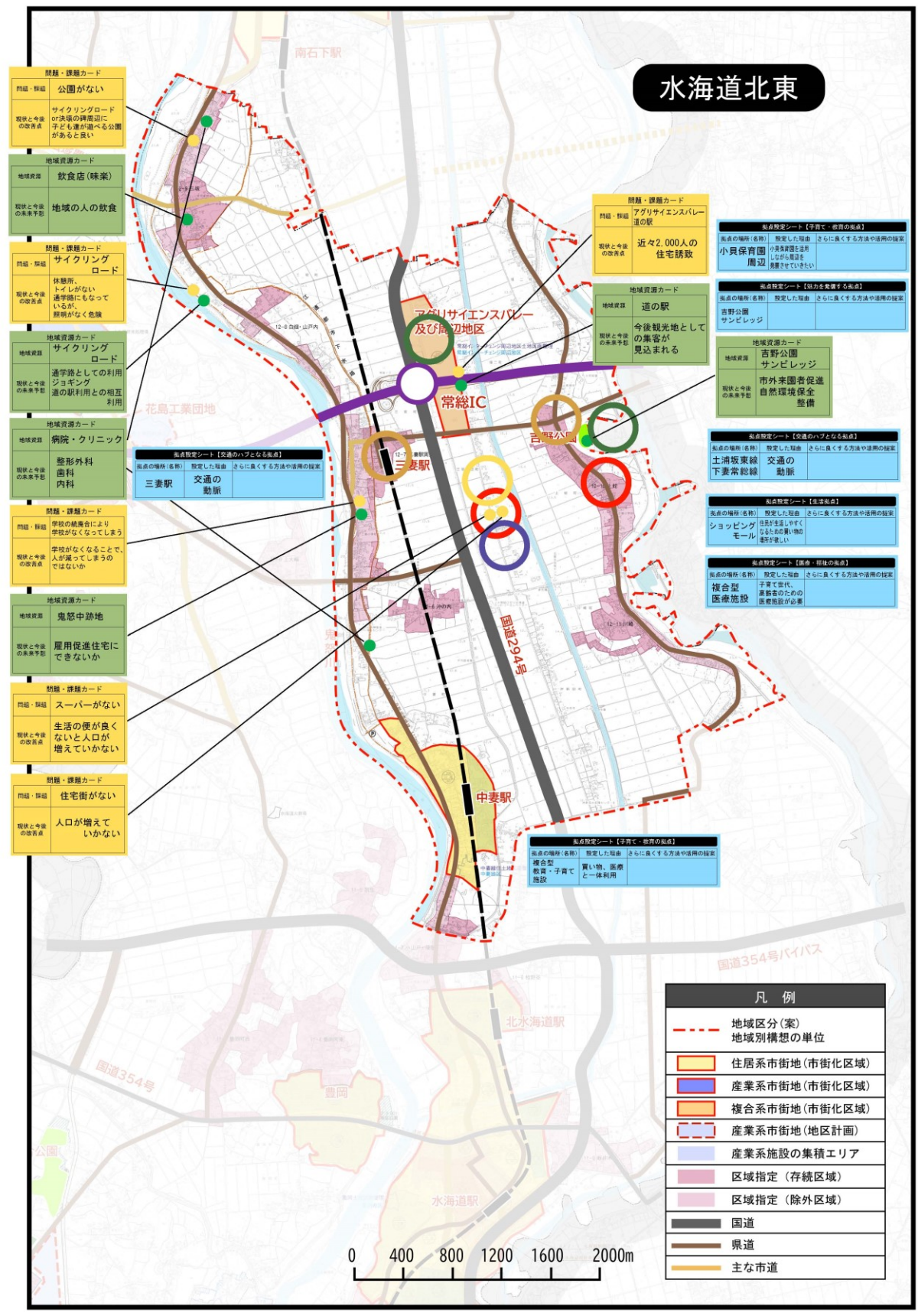
問題・課題カード
問題・課題 交通のハブとなる拠点
私点の場所(名称) 豊田小南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 石小と豊田小を結ぶ公共交通を整備

問題・課題カード
問題・課題 交通のハブとなる拠点
私点の場所(名称) 豊田小南
想定した用途 生活拠点
さらに良くする方法や用途の提案 石小と豊田小を結ぶ公共交通を整備

凡例	
---	地域区分(案) 地域別構想の単位
■	住居系市街地(市街化区域)
■	産業系市街地(市街化区域)
■	複合系市街地(市街化区域)
---	産業系市街地(地区計画)
■	産業系施設の集積エリア
■	区域指定(存続区域)
■	区域指定(除外区域)
—	国道
—	県道
—	主な市道



凡例	
---	地域区分(案)
 	地域別構想の単位
 	住居系市街地(市街化区域)
 	産業系市街地(市街化区域)
 	複合系市街地(市街化区域)
 	産業系市街地(地区計画)
 	産業系施設の集積エリア
 	区域指定(存続区域)
 	区域指定(除外区域)
 	国道
 	県道
 	主な市道



水海道北東

- 問題・課題カード**
問題・課題: 公園がない
現状と今後の改善点: サイクリングロードの決壊の跡地に子ども達が遊ぶ公園があると良い
- 地域資源カード**
地域資源: 飲食店(味素)
現状と今後の未来予想: 地域の人の飲食
- 問題・課題カード**
問題・課題: サイクリングロード
現状と今後の改善点: 休憩所、トイレがない通学路にもなっているが、照明がなく危険
- 地域資源カード**
地域資源: サイクリングロード
現状と今後の未来予想: 通学路としての利用ジョギング道の駅利用との相互利用
- 地域資源カード**
地域資源: 病院・クリニック
現状と今後の未来予想: 整形外科 歯科 内科
- 問題・課題カード**
問題・課題: 学校の統廃合により学校がなくなってしまう
現状と今後の改善点: 学校がなくなること、人が減ってしまうのではないのか
- 地域資源カード**
地域資源: 鬼怒中跡地
現状と今後の未来予想: 雇用促進住宅にできないか
- 問題・課題カード**
問題・課題: スーパーがない
現状と今後の改善点: 生活の便が良くないと人口が増えていかない
- 問題・課題カード**
問題・課題: 住宅街がない
現状と今後の改善点: 人口が増えていかない

拠点特定シート【子育て・教育の拠点】	
拠点の場所(名称)	小貝保育園周辺
想定した用途	さらにもっと遊び場や遊具を確保してほしい

拠点特定シート【活力を発揮する拠点】	
拠点の場所(名称)	道の駅
想定した用途	今後観光地としての集客が見込まれる

拠点特定シート【交通のハブとなる拠点】	
拠点の場所(名称)	三妻駅
想定した用途	交通の動脈

拠点特定シート【生活拠点】	
拠点の場所(名称)	吉野公園
想定した用途	市外來園者促進 自然環境保全整備

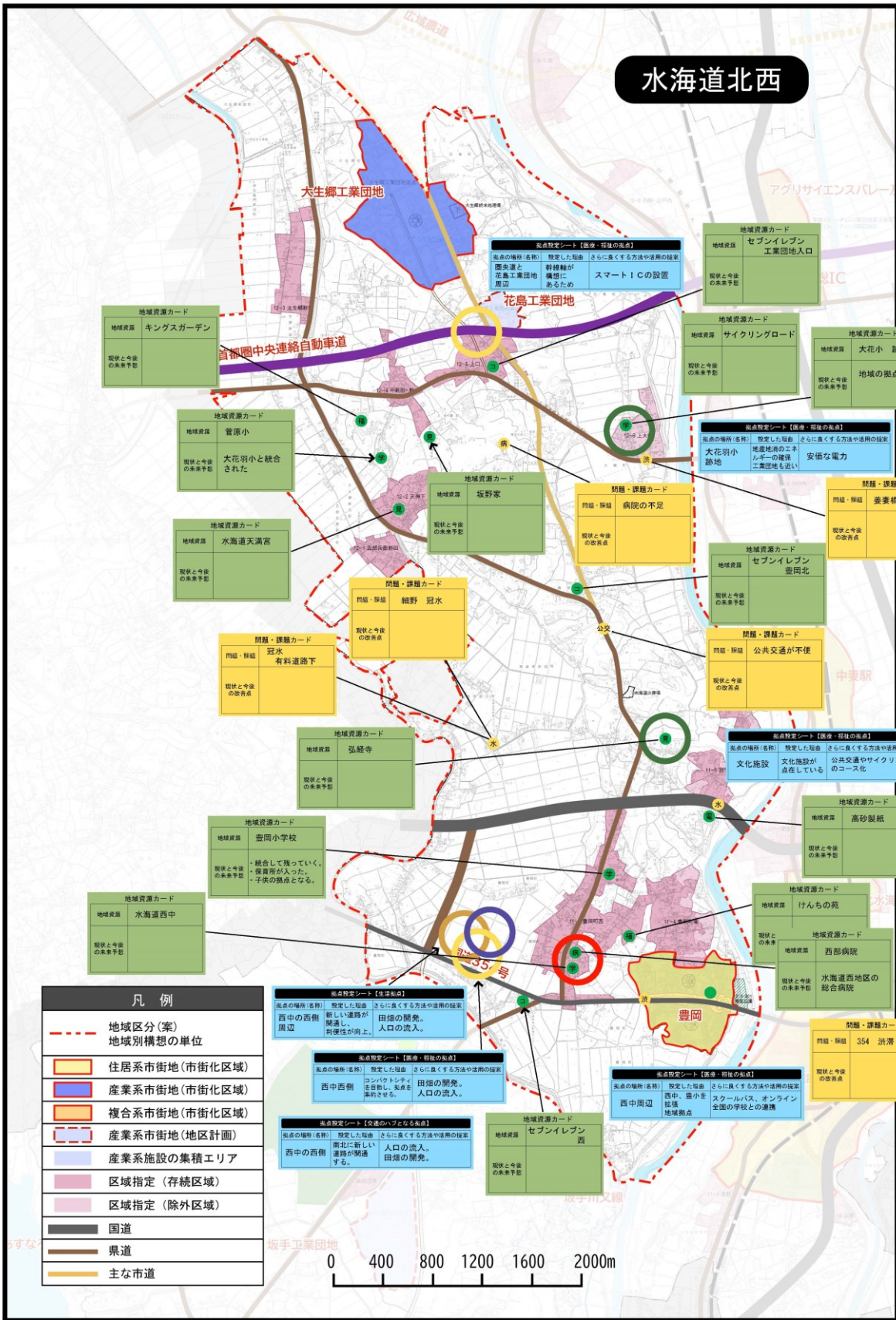
拠点特定シート【交通のハブとなる拠点】	
拠点の場所(名称)	土浦坂東線 下妻常総線
想定した用途	交通の動脈

拠点特定シート【生活拠点】	
拠点の場所(名称)	ショッピングモール
想定した用途	さらにもっと買い物場を整備してほしい

拠点特定シート【商業・福祉の拠点】	
拠点の場所(名称)	複合型教育・子育て施設
想定した用途	複合型教育・子育て施設

凡例	
	地域区分(案) 地域別構想の単位
	住居系市街地(市街化区域)
	産業系市街地(市街化区域)
	複合系市街地(市街化区域)
	産業系市街地(地区計画)
	産業系施設の集積エリア
	区域指定(存続区域)
	区域指定(除外区域)
	国道
	県道
	主な市道



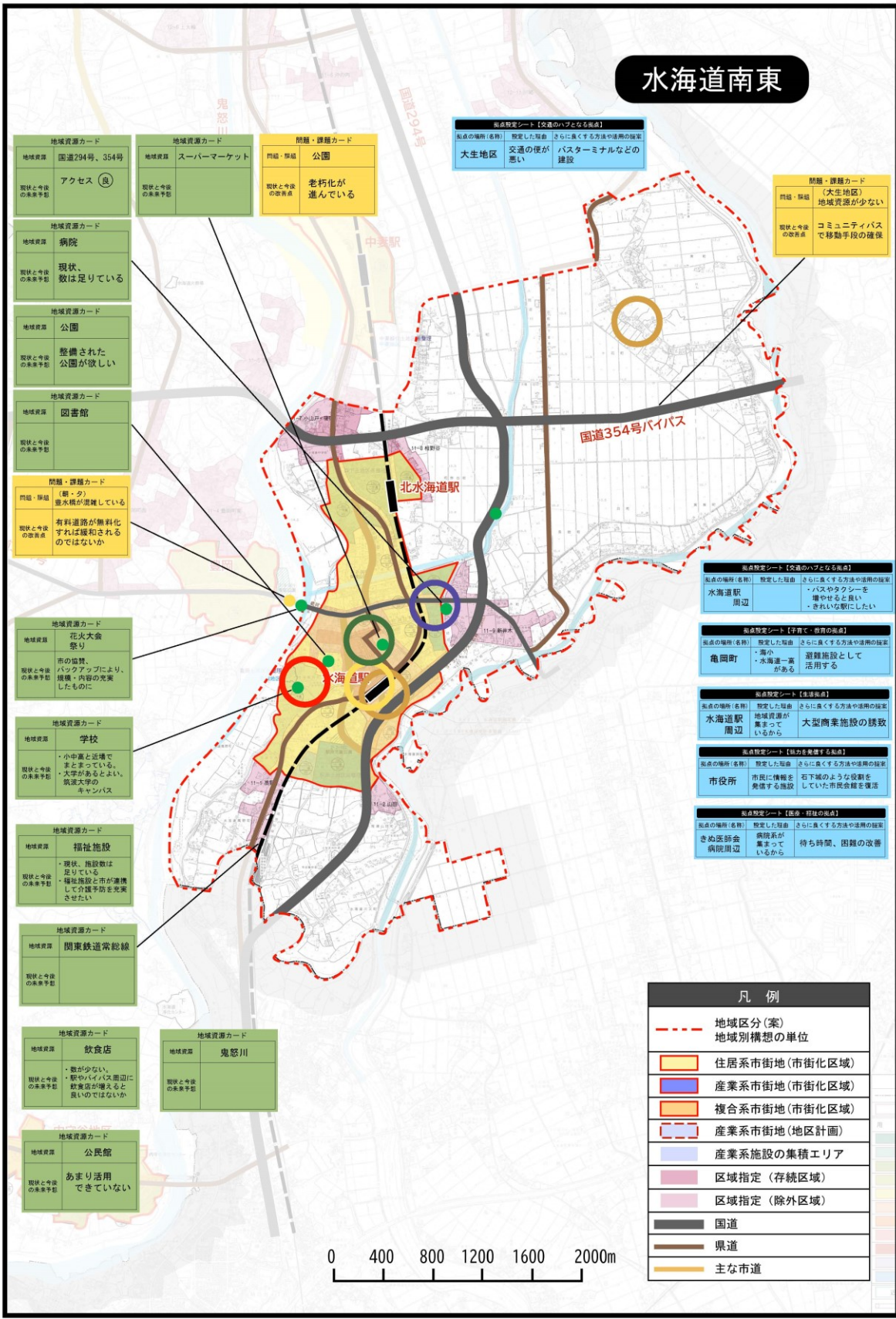


水海道北西

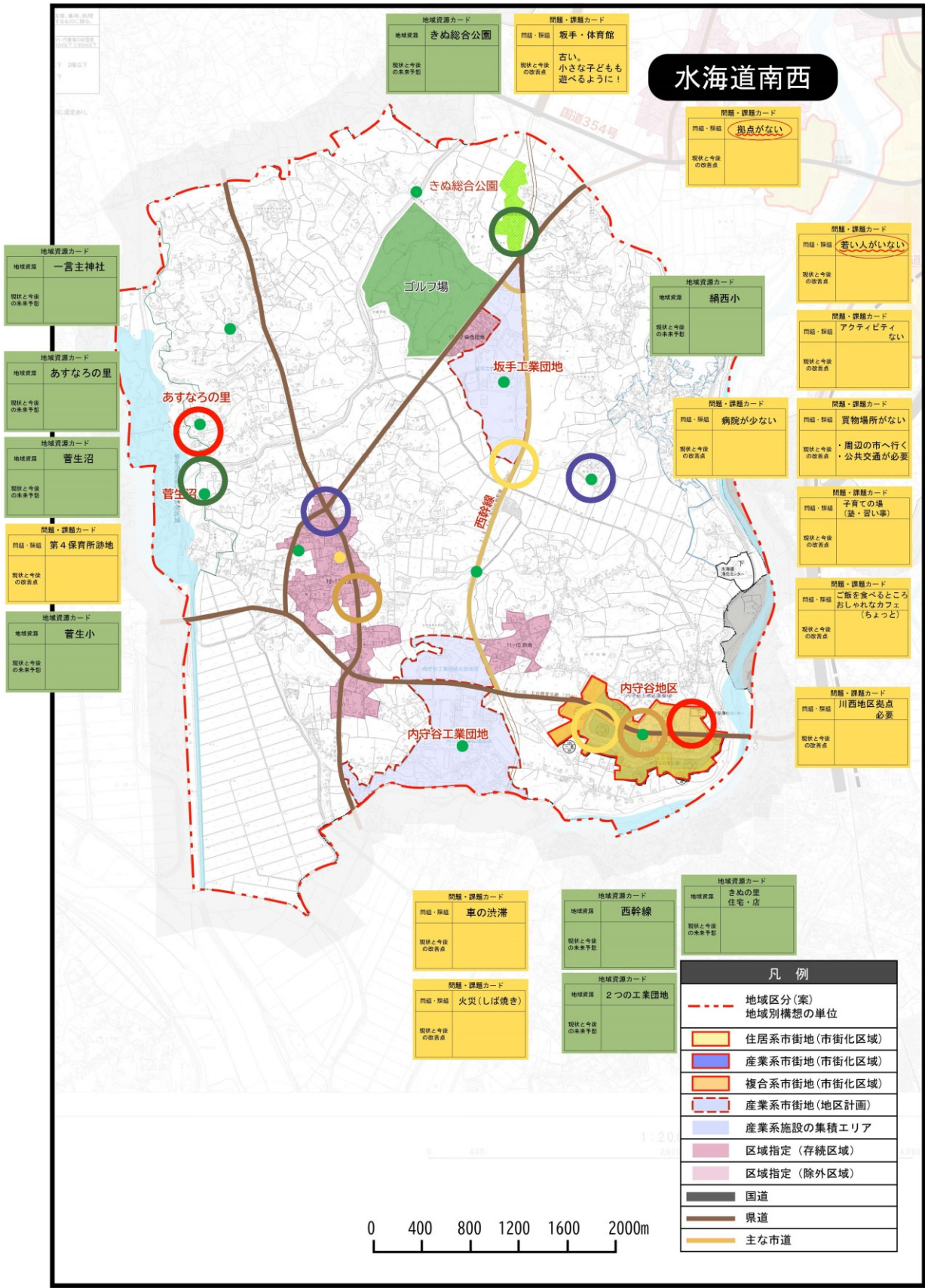
凡例	
--- (Red dashed line)	地域区分(案) 地域別構想の単位
■ (Yellow)	住居系市街地(市街化区域)
■ (Blue)	産業系市街地(市街化区域)
■ (Orange)	複合系市街地(市街化区域)
■ (Pink)	産業系市街地(地区計画)
■ (Light Blue)	産業系施設の集積エリア
■ (Light Green)	区域指定(存続区域)
■ (Light Purple)	区域指定(除外区域)
— (Thick black line)	国道
— (Thick brown line)	県道
— (Thick yellow line)	主な市道

<p>拠点特定シート【生活・福祉の拠点】</p> <p>拠点の場所(名称) 西中の西側 新しい道路が開通し、利便性が向上する。</p>	<p>拠点特定シート【生活・福祉の拠点】</p> <p>拠点の場所(名称) 田畑の開発 人口の流入。</p>	<p>拠点特定シート【生活・福祉の拠点】</p> <p>拠点の場所(名称) 西中周辺 西中、豊岡、西中周辺 スクールバス、オンライン全園の学校との連携</p>
<p>拠点特定シート【通勤・習性の拠点】</p> <p>拠点の場所(名称) 西中 コンパウンド施設を誘致し、発展を期待させる。</p>	<p>拠点特定シート【通勤・習性の拠点】</p> <p>拠点の場所(名称) 田畑の開発 人口の流入。</p>	<p>拠点特定シート【通勤・習性の拠点】</p> <p>拠点の場所(名称) 西中周辺 西中、豊岡、西中周辺 スクールバス、オンライン全園の学校との連携</p>
<p>拠点特定シート【交通のハブとなる拠点】</p> <p>拠点の場所(名称) 西中の西側 南北に新しい道路が開通する。</p>	<p>拠点特定シート【交通のハブとなる拠点】</p> <p>拠点の場所(名称) 田畑の開発 人口の流入。 田畑の開発。</p>	<p>拠点特定シート【交通のハブとなる拠点】</p> <p>拠点の場所(名称) 西中周辺 西中、豊岡、西中周辺 スクールバス、オンライン全園の学校との連携</p>





水海道南西



地域資源カード	
地域資源	きぬ総合公園
現状と今後の将来予想	

問題・課題カード	
問題・課題	坂手・体育館
現状と今後の改善点	古い、小さな子ども遊べるように！

問題・課題カード	
問題・課題	拠点がない
現状と今後の改善点	

問題・課題カード	
問題・課題	若い人がいない
現状と今後の改善点	

問題・課題カード	
問題・課題	アクティビティがない
現状と今後の改善点	

問題・課題カード	
問題・課題	病院が少ない
現状と今後の改善点	

問題・課題カード	
問題・課題	買物場がない
現状と今後の改善点	・周辺の市へ行く 公共交通が必要

問題・課題カード	
問題・課題	子育ての場(塾、習い事)
現状と今後の改善点	

問題・課題カード	
問題・課題	ご飯を食べるところおしやれなカフェ(ちよつと)
現状と今後の改善点	

問題・課題カード	
問題・課題	川西地区拠点必要
現状と今後の改善点	

地域資源カード	
地域資源	一言主神社
現状と今後の将来予想	

地域資源カード	
地域資源	あすなの里
現状と今後の将来予想	

地域資源カード	
地域資源	菅生沼
現状と今後の将来予想	

問題・課題カード	
問題・課題	第4保育所跡地
現状と今後の改善点	

地域資源カード	
地域資源	菅生小
現状と今後の将来予想	

地域資源カード	
地域資源	絹西小
現状と今後の将来予想	

問題・課題カード	
問題・課題	病院が少ない
現状と今後の改善点	

問題・課題カード	
問題・課題	車の渋滞
現状と今後の改善点	

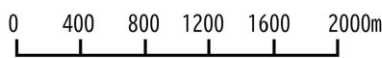
問題・課題カード	
問題・課題	火災(しば焼き)
現状と今後の改善点	

地域資源カード	
地域資源	西幹線
現状と今後の将来予想	

地域資源カード	
地域資源	2つの工業団地
現状と今後の将来予想	

地域資源カード	
地域資源	きぬの里 住宅・店
現状と今後の将来予想	

凡例	
---	地域区分(案)
---	地域別構想の単位
■	住居系市街地(市街化区域)
■	産業系市街地(市街化区域)
■	複合系市街地(市街化区域)
---	産業系市街地(地区計画)
■	産業系施設の集積エリア
■	区域指定(存続区域)
■	区域指定(除外区域)
---	国道
---	県道
---	主な市道



(2)高校生ワーキング

高校生ワーキングは、「常総市都市計画マスタープラン」の概要の説明を行い、①「中心市街地」づくりのアイデアをまとめよう、②スマホやAIを使ったまちづくりのアイデアをまとめようという2つのテーマを設定し、若い世代の視点からまちづくりのアイデアを募ることを目的として開催しました。

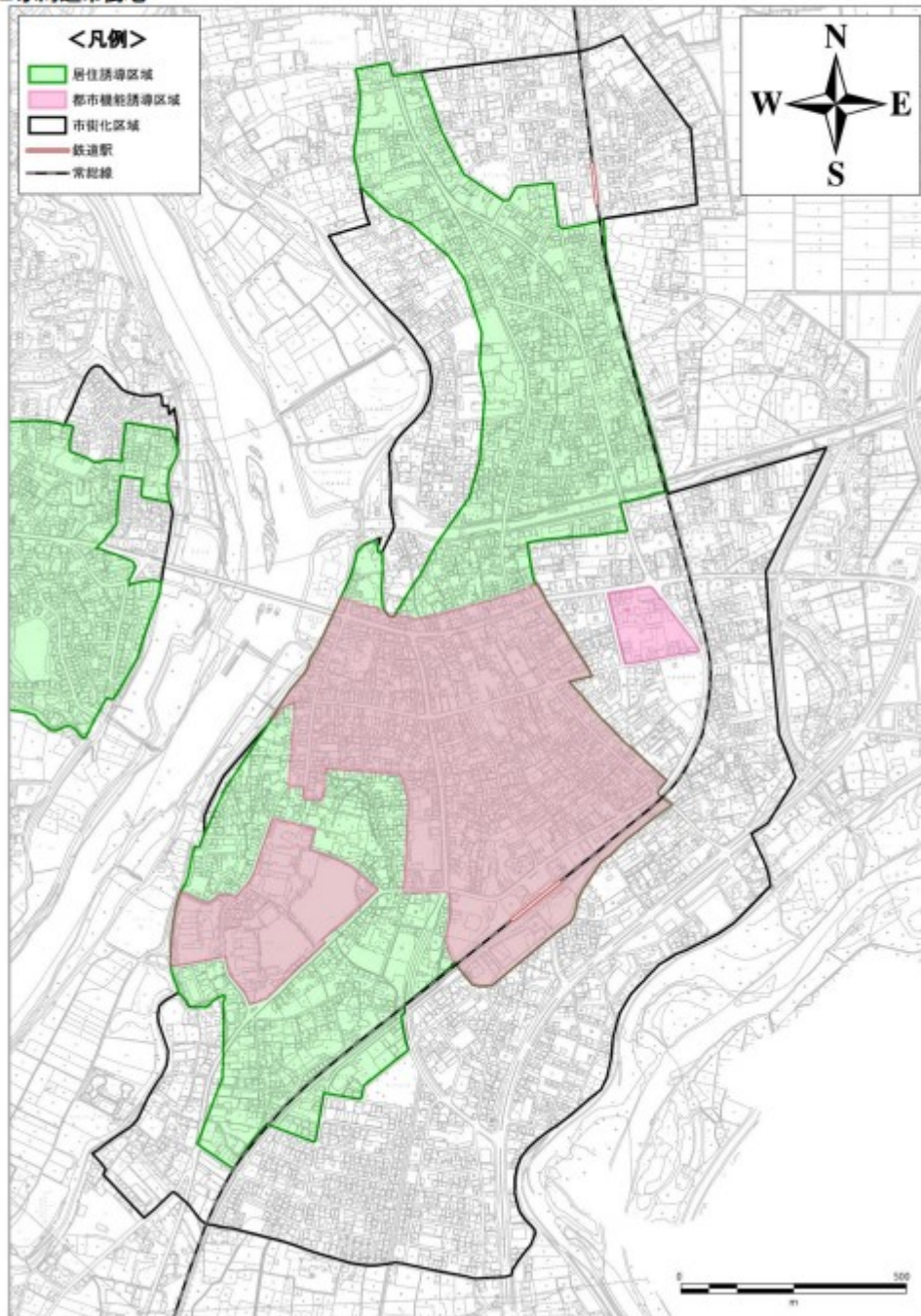


5. 常総市立地適正化計画において定める誘導区域

常総市立地適正化計画 誘導区域図

(居住誘導区域・都市機能誘導区域)

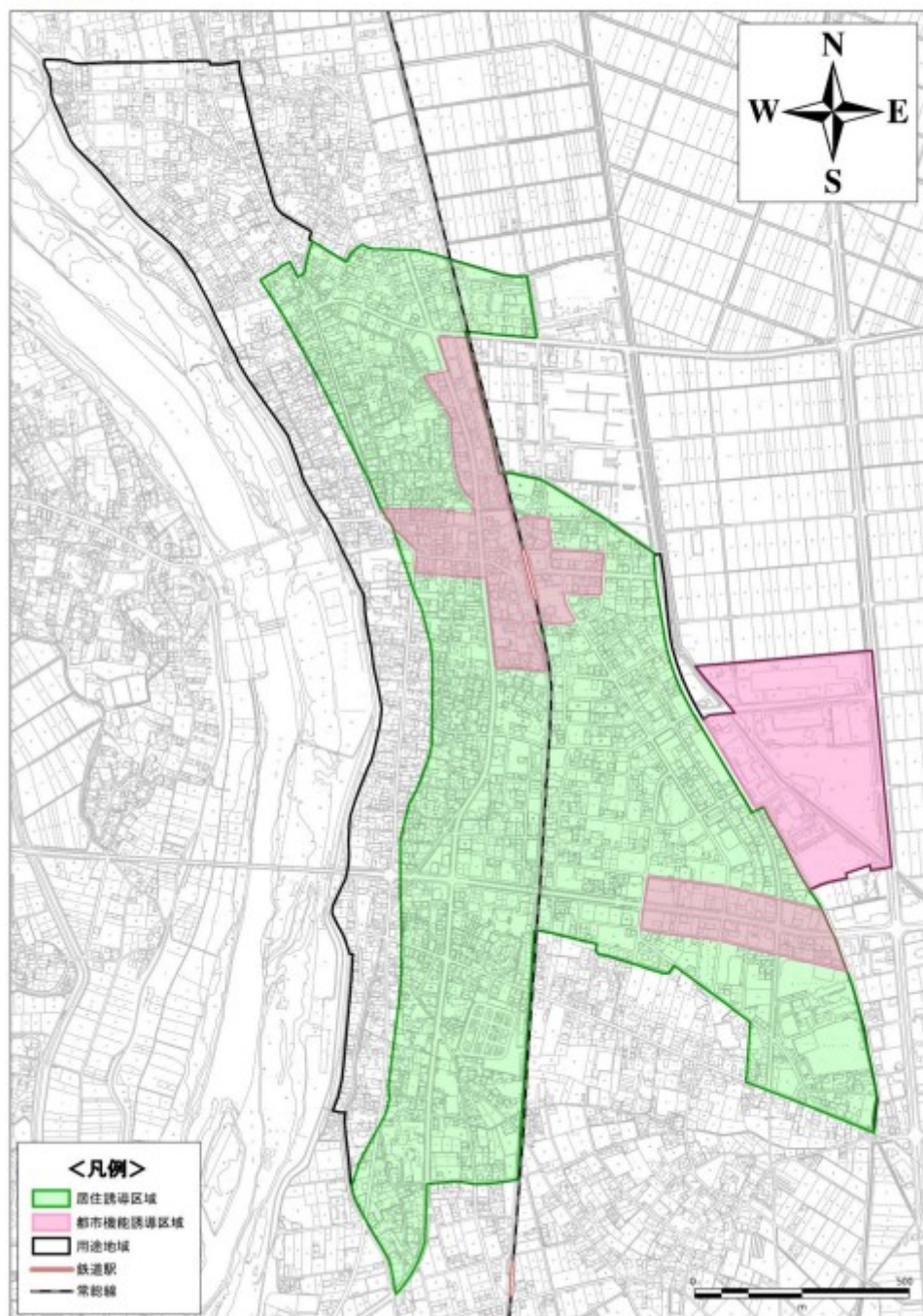
■水海道市街地



常総市立地適正化計画 誘導区域図

(居住誘導区域・都市機能誘導区域)

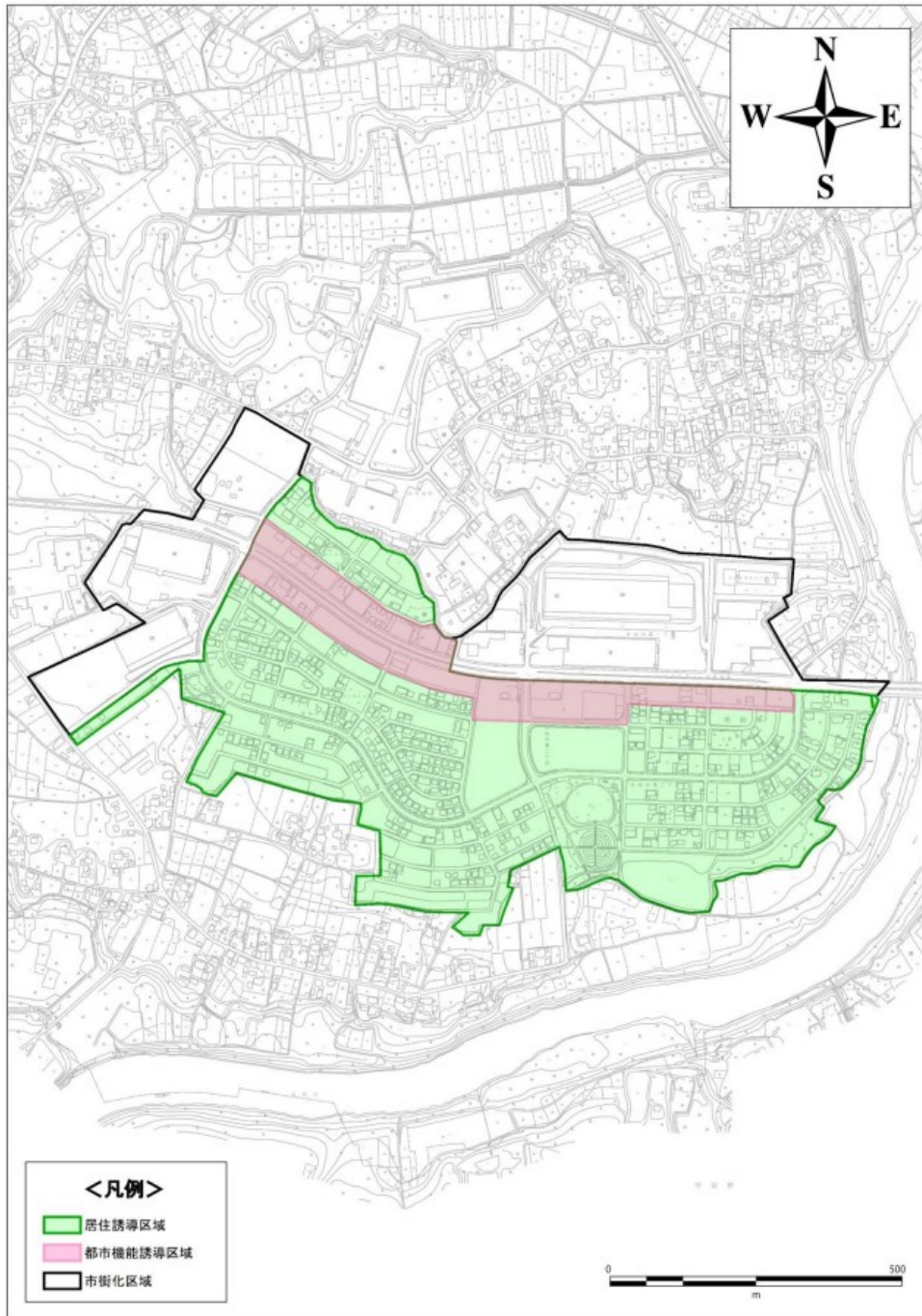
■石下市街地



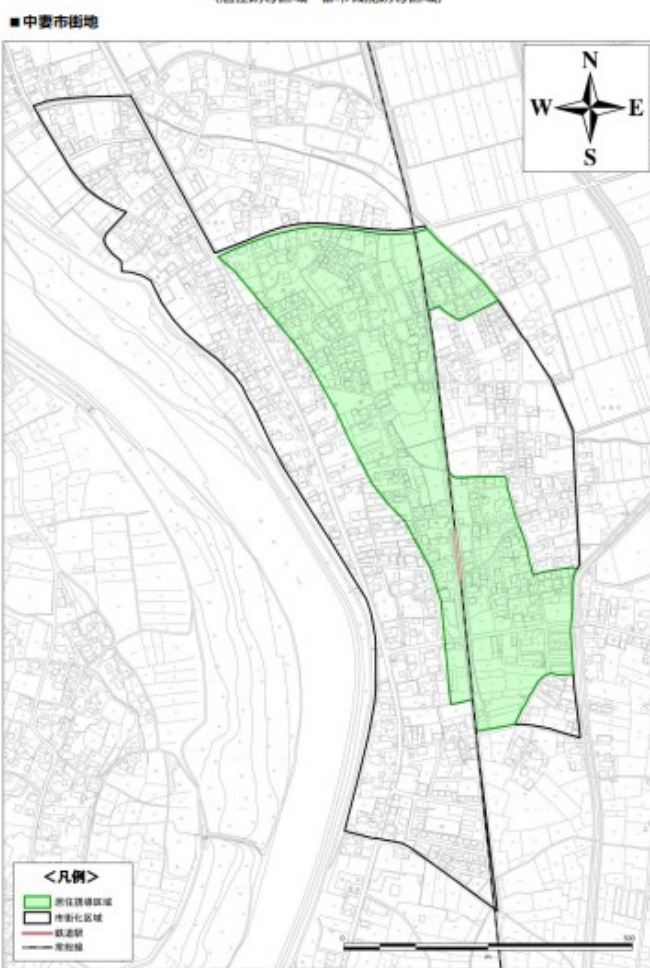
常総市立地適正化計画 誘導区域図

(居住誘導区域・都市機能誘導区域)

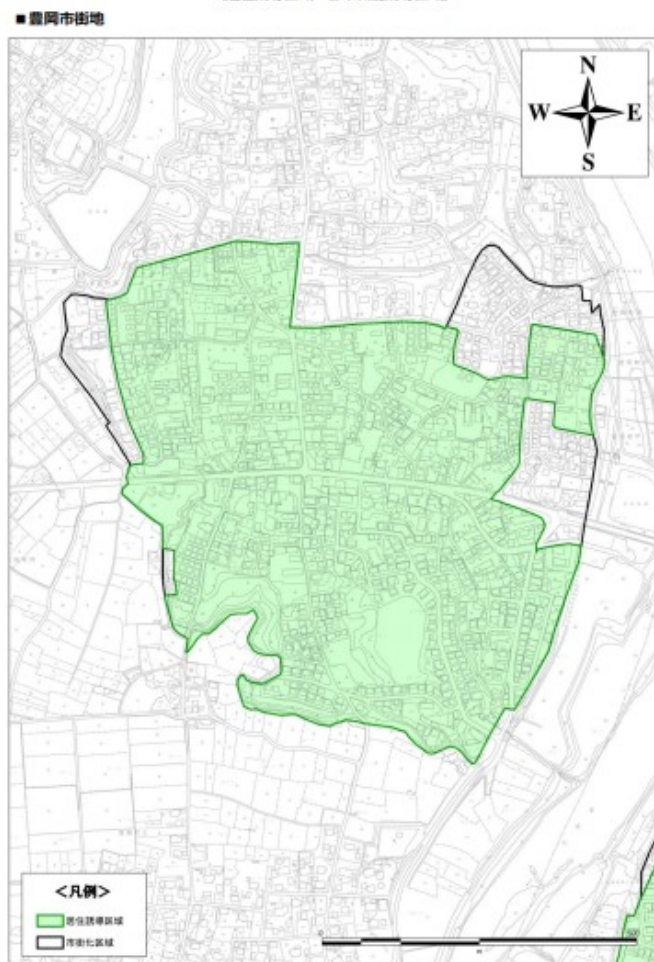
■内守谷きめの里市街地



常総市立地適正化計画 誘導区域図
 (居住誘導区域・都市機能誘導区域)



常総市立地適正化計画 誘導区域図
 (居住誘導区域・都市機能誘導区域)



6. 用語集

用語	概要
AI	言語の理解や推論, 問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピューターに行わせる技術。
AIまちづくり	Honda の研究開発子会社である株式会社本田技術研究所と常総市が, 2022 年6月30日に締結した「AI まちづくりへ向けた技術実証実験に関する協定」に基づく取組。AI や自動運転などの先進技術を活用した知能化マイクロモビリティと, それらモビリティを支えるまちづくりの実現を目指している。
GIS	GIS(地理情報システム)は, 位置に関する様々な情報を持ったデータを加工/管理したり, 地図の作成や高度な分析などを行うシステム技術の総称。複数のデータを地図上で重ね合わせ, 視覚的に判読しやすい状態で表示できるため, 分析結果の判断や管理も可能となる。
IoT	IoT(Internet of Things)は, あらゆるモノをインターネット(あるいはネットワーク)に接続することであり, 日本語ではモノのインターネットと訳される。
Park-PFI	都市公園において飲食店, 売店等の公園施設の設置又は管理を行う民間事業者を, 公募により選定する手続きのこと。事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に, 事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用される。
PPP/PFI	PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ: 公民連携)は, 公民が連携して公共サービスの提供を行うことで, PFI は PPP の代表的な手法の一つ。「PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)」とは, 公共施設等の建設, 維持管理, 運営等を民間の資金, 経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。
Society5.0	我が国が目指すべき未来社会の姿として, 第5期科学技術基本計画(平成28年1月22日閣議決定)において, 「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより, 経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」として提唱された。「持続可能性と強靭性を備え, 国民の安全と安心を確保するとともに, 一人ひとりが多様な幸せ(well-being)を実現できる社会」と表現している。
インクルーシブ	「すべてを包括する, 包みこむ」ことを意味し, 障害の有無や性別, 性的嗜好, 人種などの違いを認め合い, すべての人がお互いの人権と尊厳を尊重し合いながら生きていくことを目指す社会。
カーボンニュートラル	温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること。「排出を全体としてゼロ」というのは, 二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から, 植林, 森林管理などによる「吸収量」を差し引いて, 合計を実質的にゼロにすることを意味しており, 政府は2020年10月に, 2050 年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言している。
ガバメントクラウドファウンディング	政府(自治体)が行う寄附制度で, 自治体が抱える問題解決のため, 寄附金の使い道をより具体的にプロジェクト化し, そのプロジェクトに共感した人たちから寄附を募る仕組み。
グリーンスローモビリティ	グリーンスローモビリティは, 時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービス。地域が抱える様々な交通の課題の解決や低炭素型交通の確立が期待される。
シームレス	シームレスとは, 「継ぎ目のない」の意味で, 公共交通分野におけるシームレス化とは, 乗継ぎ等の交通機関間の「継ぎ目」や交通ターミナル内の歩行や乗降に際しての「継ぎ目」をハード・ソフト両面にわたって解消することにより, 出発地から目的地までの移動を全体として円滑かつ利便性の高いものとする。
スマートシティ	まちづくりに AI や IoT などの先端的な ICT(情報通信技術)を活用して, 都市機能やサービスの高度化・効率化を目指す取り組みのことで, 国土交通省都市局では, “都市の抱える諸課題に対して, ICT 等の新技術を活用しつつ, マネジメント(計画, 整備, 管理・運営等)が行われ, 全体最適化が図られる持続可能な都市または地区” と定義している。
デマンド交通	バスや電車などのように, 路線や停留所を定め, 決まった時間帯運行するのではなく, 利用者の予約により指定された時間に指定された場所へ送迎する交通サービスのこと。
マイ・タイムライン	住民一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)であり, 台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に, 自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し, 自ら考え

	命を守る避難行動のための一助とするもの。作成にあたっては、市区町村が作成・公表した洪水ハザードマップを用いて、自らの様々な洪水リスクを知り、どのような避難行動が必要か、また、どのようなタイミングで避難することが良いのかを自ら考え、さらには、家族と一緒に日常的に考えることが重要とされている。
マイクロモビリティ	超小型モビリティともいい、自動車よりも小さく、1～2 人で短い距離を移動するのに適している交通手段。
マイノリティ	少数派という意味で、多様な性のあり方を表す「性的マイノリティ」など、少数だけでなく、偏見や差別などにより社会的に弱い立場のグループや人々のことを指す。
ラストワンマイル	自宅から公共交通や近隣の商業施設等への移動を確保すること。
家屋倒壊等氾濫想定区域	洪水時に家屋が流出・倒壊等のおそれがある範囲で、氾濫流と河岸浸食の2種類がある。
鬼怒川ふれあい道路(西幹線)	南北に縦貫する幹線道路が未整備となっている鬼怒川西部において、円滑な交通を確保するため、主要地方道つくば野田線から以北の筑西幹線道路方面とを結び広域的幹線道路として計画されている路線。
義務的経費	地方公共団体の歳出のうち、任意に節減できない極めて硬直性の強い経費。一般的には、人件費、扶助費(社会保障制度として、生活困窮者、高齢者、児童、心身障害者等に対する経費)、公債費(地方債や一時借入金の元利償還金等)で構成される。
居住誘導区域	立地適正化計画において定める区域で、人口減少や高齢化が進む中で、都市機能誘導区域の周辺において居住を促進し、一定の人口密度水準の維持を目指す区域のこと。
近郊整備地帯	首都圏整備法の規定に基づき、昭和41年に首都圏近郊整備地帯の指定を受けており、同地帯に指定された市町村は、市街化区域と市街化調整区域との区分(区域区分、いわゆる「線引き」)を定めるものとされている。
区域区分	良好な都市環境を作るという観点から、必要に応じて、都市計画区域の中を「市街化区域」と「市街化調整区域」に分ける制度。「市街化区域」は、既に市街地を形成しているところと、おおむね10年以内に優先的に市街化を進めるべき区域で、「市街化調整区域」は、市街化を抑制すべき区域。市街化調整区域の中では、農林漁業用の建物の建築や、一定規模以上の計画的開発以外は許可されない。
区域指定	平成12年の都市計画法の改正により創設された制度で、区域指定のうち、法第34条第11号は、既存宅地制度(旧法第43条第1項第6号イ及び第6号ロ)の代替措置となる制度。また、区域指定制度では、国勢調査により人口が減少している地域内の集落について、法第34条第12号により区域指定を行っている。市街化調整区域の指定区域内であれば集落の出身要件などを問うことなく、誰でも住宅等、一定の用途の建築物を建てる事が可能となる。
洪水浸水想定区域	洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を指定するもの。浸水が想定される範囲と水深等を合わせて、洪水浸水想定区域図として公表している。
災害ハザードエリア	災害が発生した際に、被災する恐れが大きい区域。災害危険区域、土砂災害(特別)警戒区域、地すべり防止区域または急傾斜地崩壊危険区域、洪水浸水想定区域、津波浸水想定区域などがある。
市街化区域	都市計画法による都市計画区域のうち、すでに市街地を形成している区域および今後優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。
市街化調整区域	都市計画法による都市計画区域のうち、市街化を抑制する区域。
市街地開発事業	一定の区域を設定して、区域内で公共施設の整備と宅地の開発を総合的な計画に基づいて一体的に行うもので、土地区画整理事業、工業団地造成事業、市街地再開は事業などがある。
持続可能な開発目標(SDGs)	人々が地球環境や気候変動に配慮しながら、持続可能な暮らしをするために取り組むための世界共通の行動目標。持続可能な開発目標。「持続可能な開発」とは、1987年、国連の「環境と開発に関する世界委員会」が発表した報告書の中で定めた「将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発」のこと。
自然動態	人口動態のうち、出生と死亡による人口の変動のこと。

社会動態	人口動態のうち、転出と転入による人口の変動のこと。
情報技術(ICT)	「Information and Communication Technology(情報通信技術)」の略で、情報通信技術を活用したコミュニケーションを目指すこと。インターネットに代表される通信技術を利用した産業やサービスなどのこと。
人口ビジョン	地方公共団体における人口の現状を分析し、将来の人口に関する認識を共有し、目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示す計画。
人口集中地区(DID)	人口集中地区(DID=Densely Inhabited Districts)は、統計データに基づいて一定の基準により設定され、平成12年国勢調査では、国勢調査基本単位区等を基礎単位として、①「原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境界内で互いに隣接」して、②「それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域」とされた。
人口動態	ある一定の期間における人口の変動のこと。人口動態は、自然動態と社会動態の合計となっている。
線引き	都市計画区域について、無秩序な市街化(スプロール)を防止し、計画的な市街化を図るために定める市街化区域と市街化調整区域との区分のことで、「線引き」とも呼ばれる。
地区計画	都市内の中規模の地区について住みよい環境を作るため、生活道路・小公園の整備、建物の用途・高さ制限などを、市区町村と土地・建物の所有者が話し合っで決める計画。
都市機能誘導区域	立地適正化計画において定める区域で、各種サービスの効率的な提供が図られるよう、鉄道駅周辺など都市の中心拠点や生活拠点に医療、福祉、商業等の都市機能を誘導する区域。
都市計画区域	都市計画区域は、都市計画を策定する場であり、一体の都市として総合的に整備し、開発し、保全する必要がある区域を指定する。
都市計画区域マスタープラン	平成12年の都市計画法改正により規定され、都市計画区域について、都道府県が「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(都市計画区域マスタープラン)」を定めることとされた。都市計画区域マスタープランでは、①都市計画の目標、②区域区分の決定の有無及び区分する場合はその方針、③主要な都市計画の決定方針を定めている。
特定用途制限地域	都市計画区域の中の用途地域が定められていない区域において、その良好な環境の形成又は保持のため、地域の特性に応じて合理的な土地利用が行われるよう、特定の建築物や工作物の用途に対する制限を定める制度。
白地地域	都市計画区域のうち、区域区分や用途地域を指定していない区域のこと。
非線引き	市街化区域と市街化調整区域の区分「線引き」がなされていないこと。
用途地域	都市計画法の地域地区のひとつで、用途の混在を防ぐことを目的とし、住居、商業、工業など市街地の大枠としての土地利用を定めるもので、第一種低層住居専用地域など13種類がある。
立地適正化計画	立地適正化計画は、持続可能な都市構造への再構築を目指し、人口減少社会に対応したコンパクトシティを実現するため、持続可能なまちづくりに向け、居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能を誘導に関する事項を定める計画。

第2次常総市都市計画マスタープラン

～未来を共有し、人や企業が創造を続けるまちづくり～

令和6年3月

常総市 都市建設部都市計画課
〒303-8501 茨城県常総市水海道諏訪町3222-3
TEL 0297-23-2111(代)
URL <http://www.city.joso.lg.jp/>

